

Rotary 鈴鹿西ロータリークラブ会報

所属： 国際ロータリー第 2630 地区 鈴鹿・亀山グループ;

創立： 1985 年 3 月 27 日; RI 認証： 1985 年 6 月 3 日(No. 1665);

事務所： 〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町 816 鈴鹿商工会議所 3F;

電話： 059-383-7077; FAX: 059-383-8501;

E-Mail: info@rotary-suzuka-west.org; http: //www.rotary-suzuka-west.org/

例会場： 鈴鹿商工会議所 4F 大ホール; 例会日： 火曜日; 例会食事： 12: 00; 例会： 12: 30-13: 30;



第 1621 回例会 2019 年 11 月 26 日(火)

例会場： 鈴鹿商工会議所 4F 大ホール

例会進行： 岸本春雄 副 S A A

開始： 12 : 30 終了： 13 : 30

点鐘： 会長 服部高宣

ソング： 四つのテスト



ソングリーダー： 勇 理維子会員

ゲスト： 鈴鹿・亀山グループガバナー補佐

宮崎弘夫様 (鈴鹿ベイ R C)

会長挨拶

服部高宣 会長



本日は、ガバナー補佐訪問例会です。宮崎ガバナー補佐には、後ほどお話を頂きます。よろしくお願いいたします。

先週末は、国際ロータリー第 2630 地区 2019-2020 年度 地区大会に出席して参りました。新時代に組織の魅力向上へと言うことで、大会決議採択や次期への誓い、所 功様や倍賞千恵子さんの記念講演などが行われました。また、今年 100 歳になられるロータリアンが、急遽壇上にてお話をされることになったのですが、仲間が戦場で亡くなった事がロータリー活動の糧になっていると言う熱いお話や、ロータリークラブ在籍 40 年を皆出席されているお話などを、突然のことにも関わらず、原稿無く饒舌に話されている姿を拝見し、尊敬の念がやみませんでした。

今回の地区大会は、津市産業スポーツセンター サオリーナ・メッセウイングみえで行われましたが、昼食や夕食には、うなぎを始めとする開催地である津市の名店の味などが出され、大変賑やかに行われました。また、配布物の中には、津市が誇る『おぼろタオル株式会社』のハンドタオルが入っており、津市一丸となってお招きして下さったホストクラブである津ロータリークラブ様に感謝を致します。地区大会の詳しい報告については後程行わせて頂くこととして、少し余談ですが、地区大会で頂いたタオルから、少しお話をさせて頂きたいと思いま

す。おぼろタオルと言えば、日本三大タオルの一つです。おぼろタオル、泉州タオル、中でも知名度が高いのが今治タオルです。

今年は、今治タオルを扱う縫製工場で働くベトナム人技能実習生の劣悪な労働環境がドキュメンタリー番組で報道され、タオルの不買運動が広がるなど大きな波紋が広がりましたが、今治は全国のタオルの60%以上を生産するタオルの町なので、外国人労働者も多いのも事実なのでしょう。

100年以上もの歴史がある今治タオルにも低迷期は訪れます。1990年代、バブルが崩壊し景気が悪くなると、中国産の安価なタオルが大量に輸入されるようになり、生産量が減ってしまったのです。しかし、100年も続いた伝統あるタオルを終わらせてはいけないと、本質的な価値を見出してプランニングをし直しました。そして2006年、大きな転機となる『今治タオルプロジェクト』をスタートしたのです。

四国タオル工業組合は『5秒ルール』という品質基準を定めました。これは吸水性を見極めるためのテストなのですが、タオルの切れ端を水に浮かべ、沈むまでの時間を測定する方法で行われます。水に浮かべてから「5秒以内」に沈めば合格となります。このテストに合格しているタオルで身体を拭くと、水分や汗を一気に吸収し、真っさらな状態でも使い始めから水を吸うタオルと言うこととなります。

今治で製造されるタオル全てが今治タオルブランド認定商品を名乗れるわけではなく、この品質基準を満たしたタオルだけが『今治タオル』と名乗り、ロゴマークを付けて販売することが出来るというわけです。

このプロジェクトにより、今治タオルはブランドタオルとしてさらに有名になっていったのですが、

100年の歴史で培われた、本来の良さである『安心、安全、高品質』を見直したからです。

どのようなものにも良き歴史や特徴がありますので、温故知新の精神で取り組むことが大切だと感じました。

今日は宮崎様に当クラブの歴史や特徴を生かしながら行われてきた今年度の活動をご報告させて頂き、ご指導頂きたいと思います。よろしくお願い致します。

幹事報告

藤野恵子 幹事



1.当クラブの例会について

- * 12月17日(火) クリスマス親睦家族例会のため18:00~(受付17:30) 都ホテル 四日市
- * 12月31日(火) 特別休会

2.地区ガバナー事務所より、地区大会終了について

の礼状を頂戴しております。同じく、地区大会におけるポリオ募金のお礼と、千葉RID2790・災害義援金の報告を頂いております。

- ① ポリオ募金 573,802円、② 千葉・災害義援金 1,719,763円(70RC)を11月20日送金済

※ポリオ募金については、今回の寄付で約1万人の子供たちにワクチンを届けることが出来たとの報告があり、また先般、神戸で開催さ

れました「ロータリー財団地域セミナー」において、第 2630 地区が表彰されたとの報告を頂いております。

- 3.鈴鹿商工会議所より、優良従業員表彰式協賛についての礼状を拝受
- 4.本日例会終了後、第 8 回理事・役員会を事務局において開催致します。

委員会報告

*ロータリーの友 11 月号紹介

久志本敦史クラブ広報委員

11月は「ロータリー財団月間」ということで特集が組まれておりましたが、12日の例会で地区財団部門 補助金担当副委員長 上野東 RC 伊藤泰載様からの卓話や服部会長からお話を頂戴しておりますので、個人的に興味を持った内容をご紹介します。

まず1点目はマローニー会長のメッセージであります。

勉強不足で甚だ恐縮ですが、ロータリーが国際連合の設立について深く関わっていたことが紹介されており驚きました。国連憲章の起草に関しても諮問役として11人の代表が参画されたとのことです。

現在においても、国連の持続可能な開発目標であり、企業でも取り組まれている17の目標と169のターゲットを持つ「SDGs (サステイナブル・開発目標)」はロータリーの活動と多くの共通点があるとのことでした。

ロータリーの国際性を改めて認識した次第です。

もう1点は東京麹町 RC 元会長である久保田智也さまの「ポリオ根絶に向けて」のお話であります。実は私は1959年生まれであり、日本でポリオが

大流行した1960年と重なっている世代であり、実際、ポリオにかかった3人の友達がいました。

うち二人は中学時代にはバレーボールや剣道で頑張っていたことや、そこそこ横着で喧嘩も強かったことを覚えています。もう一人は同級生の姉で中学生になるまでにお亡くなりになられたと思います。現在では、パキスタン・アフガニスタン・ナイジェリアの3か国だけになったとのことですが、現代医学でも治療法がなく予防できない病気であり、全世界規模での「根絶」が世界中の人々に安心を与える唯一の道だと思いました。

「ポリオ根絶」に向けては、お話にあったような「命を懸けた支援」はできませんが、私共の会社でも過去からペットボトルキャップを回収してワクチン接種の応援を続けていますので、より活性化するように働きかけていきたいと思っております。

出席報告

伊藤義一 出席委員

正会員 39 名中 22 名出席、出席率：61.11%



ニコニコボックス報告

岩崎 透 親睦・家族副委員長



※多額 順不同・敬称略

※ 鈴鹿・亀山グループガバナー補佐

宮崎弘夫様（鈴鹿ベイRC）：本日は宜しくお願いします。

服部高宣：宮崎AGようこそお越し下さいました。よろしく願い致します。

藤野恵子：宮崎AGようこそお出で下さいました。本日は宜しくお願いします。

大泉源之：宮崎AG様御苦労様です。本日はよろしく願いします。

田中 通：①宮崎AG、鈴鹿西RCへようこそ！

お体を大事に無理せず頑張ってください！

② 11/29（金）19：00に若松公民館で初めての活動報告会をします。

沖 俊成：宮崎AG様、いつも有難うございます。

岩崎 透：宮崎AG様、ご来場歓迎します。

小林 充：宮崎弘夫AGを歓迎して。

桃井力生：宮崎弘夫ガバナー補佐をお迎えして。

野間芳実：宮崎AGを歓迎して。

河田勝正：宮崎ガバナー補佐をお迎えして。崇高な卓話を。

柴田友美：本日、長野県の叔母の手術見舞いに急遽親の代わりに行くことになりましたので、本日の例会は欠席致します。SAAの皆様にはお世話をお掛けします。

本日のプログラム

「ガバナー補佐訪問例会」上半期の報告・

下半期に向けて (順不同)

① 奉仕プロジェクト活動について

*加藤 稔 奉仕プロジェクト委員長



奉仕プロジェクト委員会は職業奉仕・社会奉仕・青少年奉仕・インターアクト・国際奉仕・ロータリー財団・米山記念奨学会・児童詩コンクールの8つの委員会にて構成されております。各々の委員会が連携し、限られた予算を有効に活用し、地域に貢献だけでなく会員も楽しめるような活動にしたい。

2019~2020年度、前期の奉仕プロジェクト活動についてと後期に向けての計画を報告いたします。

社会奉仕

前期 10/5 ふれあい広場鈴鹿協賛・参加
10/29 深谷公園 花壇修復・植栽など

後期 2回目 深谷公園 花壇整備・花の植替えなどを予定しております。

インターアクト

前期 8/4-5 第42回インターアクト年次大会参加

11/3 三重県インターアクト協議会参加

後期 前期にて年2回のインターアクト完了

米山記念奨学会

前期 10/8 米山月間に因んで川戸委員長卓話

後期 米山特別寄付を予定しております。

(職業奉仕・青少年奉仕・国際奉仕・R財団・児童詩コンクールについては各委員長の報告通り)

***藤田 充 職業奉仕委員長**



- ① 商工優良従業員表彰への協賛
- ② 職業奉仕月間には理解するための例会卓話を予定.

***野間芳実 青少年奉仕委員長**



- ① 出前職業講座の実施
7/5 白子中学校, 10/7 創徳中学校.

***川岸光男 国際奉仕委員長**



- ① 鈴鹿・亀山グループで行うグローバルグランド活動計画に協力.
- ② 国際理解を深めるための卓話、ロータリー例

会時における意見交換と情報収集、姉妹クラブとの相互訪問などを予定.

***植田幸嗣 ロータリー財団委員長**



前期

- ① 財団年次寄付額を1人当たり \$150実施
 - ② 7月13日岐阜グランドホテル 地区開催の研修セミナーへ出席
 - ③ ロータリー財団月間(11月)には地区補助金担当副委員長 伊藤泰載様による卓話を実施
- 後期
- ① ロータリーデーにはポリオ根絶のための募金活動をする

***衣斐信行 児童詩コンクール委員長**



「鈴鹿市児童詩コンクール」は鈴鹿市内4年生5年生児童の99% (おおよそ3,500人) が参加して行われます。子供たちが「読む、書く、聞く、話す、考える、話し合う、語彙の豊かさ」という基礎学力や国語力の育成できるこ

とを願って児童詩コンクールを企画しました
が今年度で17回となります。今年度も2020
年3月8日に表彰式が行われる予定で、市長賞、
教育長賞、鈴鹿西ロータリー会長賞など100点
ほどを選考することになっています。主催は
大井正美会長の実行委員会ですが、教育委員会
と鈴鹿西RCが共催となっています。

② Fellowship 活動について

勇 理 維 子 親 睦 ・ 家 族 委 員 長



R.Cにおいて、親睦がとても重要なことの
一つであることを考え会員とその家族との親睦を
深めることを目的に親睦例会を計画しました。

ただの飲み会のように楽しかっただけにと
どまらず、今以上に少しでも見聞を広められる
様な意味のある例会にしたいと考え、上半期に
は、7月に頂上例会と題しまして御在所岳の一
等三角点を目指して、いい空気を吸い健康的な
半日を過ごしてまいりました。

9月には、鈴鹿元気花火大会の日に、美しく
夜空を輝かす日本の伝統的な楽しみのひとつで
ある花火を見ながら、オーシャンテラスで美味
しい食事を頂きながら例会を開催しました。

③ クラブ運営について 藤野恵子 幹事

2019-2020年度 国際ロータリーのテーマは
ROTARY CONNECTS THE WO
RLD「ロータリーは世界をつなぐ」としまし
た。RI会長のマローニーさんはGROW R
OTARYとスピーチの中で言われたそうで

す。一言でいえば、日々のロータリー活動を通
して、より多くの方が手をつなぎ、より良い変
化のために、心を一つにして行動しましょうと
いうことです。この今年度方針を受け、鈴鹿西
ロータリークラブは、服部会長のもと各委員会
は活動計画を策定しました。その内容につい
ては、皆様にすでに配布されています会員必携を
ご覧いただければと思います。また、今年度は
当クラブの創立35周年にあたります。すでに
その中の記念行事であるチャリティーゴルフ
大会も無事終了し、鈴鹿市に対して災害時に使
用できるドローンを寄贈しております。これ以
降も記念行事として深谷公園の花壇の柵の改
修、タイのヤーラの病院への医療器具の提供
(西クラブ単独ではなくグローバルグランツ
活動に参加)、周年記念式典、祝賀会、児童詩
コンクールを行う予定です。これらの周年記念
活動を通して会員皆様の活動への全員参加の
意識を高め、出席率の向上にもつなげていけ
ばと思います。

また、今後の活動をより活発にしていくな
ために、会員の維持、増強に皆さんとともに力
を注ぎたいと思います。

④ 2019-2020年度 前期総括 服部高宣 会長

今期最初のプログラムでは、恒例となってい
る追手風部屋の方々をお迎えしての例会か
ら始まりました。最初の会長宅話はかなり緊
張致しました。パスト会長より、会長宅話は
ロータリーの事を話すべき。とのご意見を頂
戴致しましたので、インターネットをフル活
用させて頂き例会にてお話しさせて頂いて
おります。

各委員会より報告のありましたように、例

年させて頂いている行事を少しずつブラッシュアップし、当初の会長挨拶でも申しあげました通り、鈴鹿西ロータリークラブの35周年記念の行事を各会員の協力の下、粛々と進めているところでございます。

また、あちらこちらで頻りに言われております会員維持増強についても、我がクラブでは会員維持増強委員長を会長エレクトが担当するので、委員長とご一緒させて頂き会員獲得に勤めております。中々成果には結びついておりませんが鋭意努力中です。

35周年記念例会には、ガバナー並びにガバナー補佐を初め来賓の方々を招待し来年3月21日には、コンフェット鈴鹿平安閣にて周年記念例会を開催させて頂く予定です。是非ともご参加頂きご祝辞を頂戴出来ればと思っておりますので、よろしく御願い致します。

⑤ 2019年11月度 上半期報告
国際ロータリー第2630地区 鈴鹿・亀山
グループガバナー補佐 宮崎弘夫様



鈴鹿・亀山グループ ガバナー補佐の宮崎です。実質的には2019～2020年度ガバナー補佐を仰せつかって初めてのクラブ訪問となります。まず新年

度初期からのお詫びとお礼を述べさせていただきます。

まずお詫びです。私は7月初めに脳の神経を患い合同例会とIMの直前まで入院生活を送ることになってしまいました。結果、私自身も楽しみにしていたグループ内各クラブへのクラブ協議会・7月度クラブ例会訪問等への参加は全て叶いませんでした。皆様には大変なご心配とご迷惑をお掛けしたことを改めてお詫び申し上げる次第でございます。

次にお礼です。私は今回の件に遭遇してロータリアンとして感激したことが何度もありました。それは辻ガバナーからの「命より大切なものは無し、まず生きることを考えよう」との励ましのメッセージ、そして各クラブ会長様からの「十分に治療に専念してください」という温かいお便りを頂きました。今回、私にはどんな治療や薬よりも、皆様からの温かいご友情の言葉に勝るものはありませんでした。会長はじめクラブの皆様、本当にありがとうございました。

それでは私の退院後のガバナー補佐活動およびグループ内活動の報告をさせていただきます。皆様のご理解により予定の規模を縮小しながらも、ガバナー公式訪問例会そしてインターシティミーティング等を無事に終了することができました。

まずガバナーを迎えて5クラブ合同会長・幹事会が行われました。当初、これは辻ガバナーから各クラブ1時間のプログラムを組んでいただきたいとのリクエストがありました。しかし私は「総天然色」を各クラブはどのようにとらえ、どのような理解をしてクラブを進めるのか、他のクラブの意見を聞きたいと思っているはずと捉え、是非5クラブ合同会長・幹事会として開催していただきたい、とお願いしご了承いただきました。

次にガバナー公式訪問例会では辻ガバナーからのご講演を聴いていただきました。ガバナーから「変化とは何?」「あっ、こんなのはどうだろう」と思い付きが出れば同じ思いや考えを持った人が手を取り合い、勇気を持ってみんなで動かしてみよう、と行動する事ではないでしょうか。いよいよロータリークラブが「ロータリーの理念」に基づき、主導権を持ってロータリー活動をする時が来たようです。この地区にあるロータリークラブの数だけ素敵な花を咲かせ、総天然色の2630地区を作りましょう。と、ワクワクするようなお話を頂きました。そしてインターシティ ミーティングでは記念講演講師としてお招きした第2800地区 鈴木一作パストガバナーから「ロータリアンの心得」とはかくあるべしとの熱弁を聞いていただきました。皆様にとりましては如何でしたでしょうか。鈴木講師のお話は素晴らしいお話でした。しかし私が感動したのは講演直後の5クラブ会長からのご感想卓話でした。講演の内容を詳しく分析し、理解してご自身にまたクラブに照らし合わせて講演のご感想を5分という短い時間に素晴らしくまとめ上げられた卓話でした。私は各クラブ会長を誇りに思い、講師講演以上の拍手を贈りました。そしてご来場いただいた皆様には本当にありがとうございました。

グループ活動を振り返ってみます。当グループでは市内の中学校生徒に向けた出前講座を7月白子中学校へ10月に創徳中学校へそして11月に白鳥中学校で其々行いました。各ロータリークラブ様多くのロータリアン方々にはお忙しい中講師を務めていただきましたことを心より御礼申し上げます。

出前講座は下半期にも要請があると思います。青少年育成活動として皆様のご協力を是非ともよろしく願いいたします。

そしてグループの5クラブが集まってタイ国第3330地区へのグローバル гранツ事業も10月初旬に実施地区第3330地区から事業申請書がTRFに提出されました。財団本部は事業申請書提出国(実施国)第3330地区へ度重なる質疑応答を繰り返したと想像されますが、意外に早く11月9日に提案書が承認されました。間もなく事業が始まり1月末には事業が完成する予定です。このグローバル гранツ事業に関わった地区、またはクラブは引渡し式典に参列する義務があります。クラブが出した500 US\$でこんなに多くの人たちのためになるのだ、と言うことを現地の人たちの喜びの表情、そして支援した私たち自身の喜びを現地で感じていただきたいと私は願っています。

偶々第3330地区 地区大会が2020年3月26(金)・27日(土)に開催されます。そこで辻ガバナーが実施国から感謝状を受け取り、タイ国ロータリアンに支援国ガバナーとしてメッセージを述べられます。この大会には辻ガバナーと平井財団委員長はじめ多くの地区役員が参加する引き渡し式典と地区大会へ私と一緒に参加しましょう。

以上、鈴鹿・亀山グループ上半期の活動報告とさせていただきます。今後ともご支援とご協力をよろしく願いいたします。ありがとうございました。

会報発行担当：久志本敦史